

和歌山病院での実習を終えて



松本 明子

私は6月25日から7月13日まで、和歌山病院呼吸器内科で3週間実習させていただきました。3週間で一人の患者さんをあてていただき、最後は先生方の前でプレゼンするという内容でした。担当の患者さんはかなり経過が長い方で、電子カルテ導入前からかかっており、手書きの紙カルテを初めて見ました。経過を追っていくと、疾患の特徴や患者さんの状態の変化や特徴などがよくわかりました。主治医の駿田先生が参考にと資料を貸してくださったり助言してくださり、大変勉強になりました。

南方先生には胸部レントゲンの読影や他の検査などの講義をしていただきました。自分たちで所見をつけてそれを修正していただく形で、はじめは何気なくCP-angleやCTRを評価するくらいしかできませんでしたが3週間で大分成長したと自分では思っております。後半は研修医の先生方も加わり、意見を聞きながら勉強させていただきました。

川邊先生にはルートの取り方や血ガスの取り方を教えていただきました。金澤さんとお互いの腕で練習し合い、少しながら患者の痛みを知ることができました。どの部位が痛いのか、どうすれば痛みが少ないかなどいろいろ実験できました。お忙しいところ時間をかけて丁寧に教えてくださりありがとうございました。

最後になりましたが、南方先生をはじめ実習でお世話になった先生方、医局でお菓子をくださった龍田さん、自転車を貸してくださった事務のみなさんにお礼申し上げます。ありがとうございました。